動物による危害防止対策強化月間

「犬にかまれないために」

11月は「動物による危害防止対策強化月間」です。県内では、毎年子どもが犬にかまれてけがをする事故が起きています。次のことについてお子さんに注意を促し、事故の発生を防ぎましょう。

・知らない犬には近づかない、手を出さない
・知っている犬であっても注意する
　→近づく場合は飼い主の了承を取り、
　　犬が落ち着いていることを確認してからにしましょう。
・エサを食べている時、おもちゃで遊んでいる時はさわらない
　→取られると思って攻撃する場合があります。
・しつこくさわるなど、犬がいやがることをしない
　→慣れた犬でも我慢の限界があります。
・放たれている犬を見ても走らない、大声を出さない
　→逃げると追いかけてくることがあります。犬と目を合わさず、静かに離れましょう。また、飼い主不明の犬が放たれている場合は、最寄りの保健所、動物愛護センターに通報してください。

▶問合せ　香取健康福祉センター（保健所）☎㊷9161、千葉県動物愛護センター　☎0476-93-5711

短歌・川柳募集

◆募集規定　用紙一枚につき2首（句）までとし、用紙のサイズは問いません。必ず、地区名と名前を明記してください。
◆応募先　〒289－0292　神崎町役場まちづくり課　◎応募いただいた短歌等は各会で選考のうえ、掲載します。

広報文芸

短歌

山砂を採取されたる里山の麓にぽつんと地蔵祀らる　毛成　長島　利枝

通学路に伸びたる枝に柿の実のたわわに熟るるを眺めし彼の日　香取市　奥村　利夫

ひとときの驟雨過ぎたる利根川を大きく跨ぎ夕の虹たつ　本宿　野田　美代

隣家の垣に咲き散る「アンデスの乙女」の花を眺めて足らふ　本宿　高橋はつ江

道の辺の石塀の保つ陽の温みほんのり頬に伝はる夕暮れ　神宿　高木　朝司

知床の滝川映すテレビ見て腹這ひ遡上の鮭思ひ出づ　今　石井　昌良

川柳

あの人は　電話帳では　生きている　五月　石井　昌良

免疫を　増やす肉食べ　太り過ぎ　大黒天　野口　喜平

思い出す　密でもよかった　あの人と　おかめ

自転車も　車もやめろと　孫が言い　かんな

待つ時間　川柳にする　ネタ探し　むつき

今年こそ　季節の旬の　松茸を　若葉

コロナ風　吹き荒れて見ろ　国会で　山花

電車待つ　ツバメが帰って　巣が残る　若葉

この時代　椅子取り合戦　到来か　こでまり

コロナにて　マダマダ困る　三蜜が　つるや

トランプは我が家ババ抜き　あちらボス　超偶然

推薦句

目は声を　出せないことを　知るマスク　喜伝

コロナ禍で、マスクをしている人が9割以上います。その中で、あれ誰だっけ？失礼しちゃったかな？声はダブー目が声を出せたらね？中にはその方がいい？？？

町では、町内外を問わず広報紙へ掲載する有料広告を募集しています。
掲載料は1回5,000円、3回連続12,000円、6回連続20,000円、12回連続36,000円です。広告の大きさや掲載期間に応じて掲載料を設定していますので、まちづくり課（☎㉗2114）へお問い合わせください。